

全10回 無料・オンライン開催 アドバンス・シミュレーション 第1~2回 概要版 ・セミナー 2023

アドバンスソフト株式会社は、我が国における計算科学技術の振興を目的として、幅広い分野の最先端研究を対象とする「アドバンス・シミュレーション・セミナー 2023」を開催いたします。

本セミナーで紹介される多種多様な最先端研究をきっかけに企業の研究開発を担う技術者の方が新たな視点を持つこと、最先端研究を産業に応用する起点となること、長期的には計算科学シミュレーション分野の裾野が広がること等を期待しております。

各回の内容構成は、60分程度の先生のご講演、質疑応答等で、合計90分を予定しています。

(※ただし、特別セミナーを除く)

興味をお持ちの方のご参加を、心よりお待ちしております。

開催期間 2023年4月～2024年1月 14:00～15:30 (13:45よりログイン可能)
※第1回 および 特別セミナーを除く

開催方法 オンラインセミナー (Zoomにて開催)

主催 アドバンスソフト株式会社

参加費 無料

定員 各回100名 (講演日の1ヶ月前から募集を開始します。先着順、定員にて締め切りといたします。)

お申し込み 参加のお申し込みは、弊社ホームページをご覧ください。 <https://www.advancesoft.jp/seminar-page/>
またはメールにて office@advancesoft.jp 宛に『貴社名』、『ご所属』、『ご氏名』、『ご住所』、『電話番号』、『E-mail』を明記の上、お申し込みください。

第1回 JAMSTEC 堀 宗朗 先生 2023年4月21日 (金) 開催

No.	開催日	講師の先生方	テーマ
第1回	4月21日 (金) 15:30～17:00	「防災・インフラ分野での シミュレーションへの期待と課題」 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長 堀 宗朗 様	防災・インフラ

第2回 広島大学 角南 英夫 先生 2023年5月19日 (金) 開催

No.	開催日	講師の先生方	テーマ
第2回	5月19日 (金) 14:00～15:30	「半導体デバイスの歴史と展望」 IEEE LIFE FELLOW 広島大学 名誉教授 角南 英夫 様	半導体



<p>第1回「防災・インフラ分野でのシミュレーションへの期待と課題」 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長 堀 宗朗 様</p>	<p>第2回「半導体デバイスの歴史と展望」 IEEE LIFE FELLOW 広島大学 名誉教授 角南 英夫 様</p>
<p>ご経歴・ご研究内容</p> <p>1984年 東京大学工学部土木工学科卒業。1987年 カリフォルニア大学サンディエゴ校 応用力学・基礎工学専攻 博士課程修了。2001年 東京大学 地震研究所 教授。2012年 理化学研究所 計算科学研究機構 総合防災・減災研究ユニットリーダー。2019年 海洋研究開発機構付加価値情報創生部門 部門長。</p> <p>専門は計算地震工学、応用力学、統合地震シミュレーションと地震応答解析のため並列有限要素法の研究開発。</p>	<p>ご経歴・ご研究内容</p> <p>1969年 東北大学工学部電子工学専攻 修士課程修了。1969～98年 日立製作所勤務。1973～74年 米国スタンフォード大学 客員研究員。1980年 東北大学より工学博士授与。1998年 広島大学 ナノデバイス・システム研究センター 教授。2007年 広島大学 名誉教授。2016年 IEEE Life Fellow。その他の詳細・研究内容については、ホームページを参照してください。 http://www.sunacc/</p>
<p>講演概要</p> <p>国土交通省データプラットフォーム等を利用する、防災・維持管理用の都市のデジタルツインの開発と利用の検討が進められている。この中では、より効果的な対策・政策の立案に資する、都市全体の解析モデルを使った自然災害や構造物の劣化の予測シミュレーションが重要な課題である。</p> <p>本講演では、都市のデジタルツインの現状を概説し、開発に関わる研究プロジェクトを紹介した後、都市のデジタルツインが実現する予測シミュレーションの期待と課題について説明する。</p>	<p>講演概要</p> <p>第二次世界大戦の終戦後まもなく 1948年に固体による増幅素子の発明としてトランジスタが発表された。この素子は当時の電子機器を構成していた真空管を徐々に置き換え始め、特に 1970年代初頭に発売された集積回路としての汎用プロセッサ、メモリ、撮像素子はその後著しい発展を遂げ、あらゆる電子機器を高性能化させ続けている。この「産業の米」とも称される半導体デバイス発展の原動力は素子の微細化でもたらされる高集積化・大規模化である。一方高電圧・大電力を制御するパワー素子の用途も拡大し続けている。それと同時に、素子の最適化と性能予測を行うシミュレーションの重要性も増している。本セミナーはそれらのトレンドを俯瞰し、将来を展望する。</p>

第3回以降の開催日程

※プログラムは変更となる可能性があります。

No.	開催日	講師の先生方	テーマ
第3回	6月22日(木) 特別セミナー 定員200名	「複雑流動現象の数値シミュレーション」 大阪大学 基礎工学研究科 機能創成専攻 教授 後藤 晋 様	複雑流動・機械学習
	午前 or 午後 (2.5時間)	「機械学習による流体解析の拡張」 University of California, Los Angeles (UCLA) 教授 平 邦彦 様	
第4回	7月21日(金)	「GPUスパコンによる混相流シミュレーション・流体構造連成のシミュレーション」 東京工業大学 学術国際情報センター 教授 青木 尊之 様	流体・HPC
第5回	8月3日(木)	「原子力安全に必要な計算科学技術への期待」 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 笠原 直人 様	原子力安全
第6回	9月14日(木)	「量子コンピュータと量子アニーリングマシン : 基礎から最先端まで」 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 新原理コンピューティング研究センター 副研究センター長 川畑 史郎 様	量子コンピュータ
第7回	10月6日(金)	「爆轟から見えるCAEの方向性」 青山学院大学 理工学部 名誉教授 林 光一 様	爆轟
第8回	11月10日(金)	「都市のデジタルツイン」 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 デジタルアーキテクチャ研究センター 総括研究主幹 中村 良介 様	デジタルツイン